

第518回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成19年3月16日(金) 午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
委員数 11名
出席委員数 6名
出席委員の氏名
委員長 吉沢 正則
副委員長 田代 高章
委員 伊藤 史典 河村 泰信
米谷 春夫 矢佐 俊幸

欠席委員の氏名 熊谷志衣子 小松 務
澤口たまみ 高橋 健悦
宮澤 徳雄

会社側出席者
阿部 正樹 代表取締役社長
川島 敬司 常務取締役
菅野 秀樹 取締役テレビ営業局長
柴田 継家 報道局長
川上 隆 ラジオセンター長
鎌田 英樹 テレビ編成局長
八木沢夕希子 制作部ディレクター

事務局
馬場由紀子 番組審議会事務局長
小笠原 勉 番組審議会事務局次長
4. 議題 IBC特集『お医者さんはどこですか
～岩手の地域医療は今～』

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- ・医療の問題は地域住民だけで解決できるものではない。他県の先進的な事例を紹介するなど、行政を動かすような具体的な解決策を提示して欲しかった。
- ・病院不足、医師不足を克服するために、ITを使った遠隔の検診や助産院の開院など、地域で知恵を出して努力していると感じた。
- ・若い女性の研修医が、自分が力になるのであればどこへでもという気持ちで地域医療に取り組んでいる姿に感銘を受けたし、健気にも思った。
- ・全体的な番組の流れが、若干間延びしたような印象もあり、鋭角的な突っ込みが欲しかった。番組の組み立てに工夫の余地があったのではないか。
- ・なぜ研修医に頼らなければならないのか。開業医が減ってきている一方で勤務医が開業医に転ずる例があるのはなぜか。現在どんな取り組みが行われているか。今後の見通しや展望・・・シリーズものとして深める番組を企画して欲しい。
- ・開業医と大型病院の連携等、うまくいっている例もあると思うが、メッセージ性がなく総花的に羅列している印象をもった。

<社側>

- ・貴重なご意見ありがとうございます。医療のテーマは命の問題として大切だと思っています。表層的なテーマの羅列に終わることなく、局としての提言も含めて取り組んでいきます。
- ・「岩手をほっとけない!？」キャンペーンを展開しようと、県民の皆さんからテーマを募集し、400件を超えるテーマを頂きました。大きく集約すると、医療、環境、教育問題等で、その根底には県内格差の問題が見えてきました。地域が抱える医療問題を含めて、ニュースエコーやIBC特集で取り上げていきます。
- ・他県の例で、お医者さんも病院も不足している状況の中で、基幹病院、中核病院、診療所が一体となって、一次から三次救急病院という役割分担をするなど、連携して患者さんを受け入れているケースを取材したことがあります。今回は岩手の医療に特化しようということで、他県の事例などは紹介しませんでした。